# python-asa2prolog

# Description

ASAの解析結果をPrologの木構造に変換する

## 環境構築(WIP)

取り急ぎ必要な環境をまとめておきます。後ほど修正。

- python >=3.6.8
- Mecab && Cabocha
- Graphviz
- numpy
- 必要物のインストール
  - \$ pip install -r requirements.txt
  - \$ git clone https://github.com/takenl2021/python\_prolog\_interpreter.git

## asa2prolog\_converter.Converter

以下、コンバータのインターフェース

メソッド	説明	引数	戻り値
set_sentences()	生テキストのセ ット	引数 1 [string]: 生 のテキスト	void
load_sentences()	ファイルからテ キストのロード	引数 1 [string]: フ ァイルパス	void
get_sentences()	セットされてい るテキストリス ト取得	None	string[]
convert()	一文をコンバー ト	引数 1 [string]: 生 のテキスト	{ 'predicates': string(一文に対するProlog述語), 'dot_string': string(DOT), 'asa_json': dict(ASAの出力 JSON) }
convert_all()	ロードされてい る全文をコンバ ート	None	{ 'predicates': string(一文に対するProlog述語), 'dot_string': string(DOT), 'asa_json': dict(ASAの出力 JSON) }[]

### 対応述語

以下、生成されるProlog述語一覧

述語名	引数1	引数2	引数3

述語名	引数1	引数2	引数3
chunk( _ , _ , _ )	文番号	0固定	chunkノード番号
morph( _ , _ , _ )	文番号	親chunkノード番号	morphノード番号
main( _ , _ , _ )	文番号	親chunkノード番号	親chunkの主形態素の表層
part( _ , _ , _ )	文番号	親chunkノード番号	親chunkの副形態素の表層
role(_,_,_)	文番号	親chunkノード番号	親chunkの意味役割の表層
semantic( _ , _ , _ )	文番号	親chunkノード番号	親chunkの概念の表層
surf( _ , _ , _ )	文番号	0/chunk/morphノード番号	ノードの表層
surfBF( _ , _ , _ )	文番号	morphノード番号	ノードの表層の基本形
sloc( _ , _ , _ )	文番号	chunk/morphノード番号	ノードの表層のsloc

#### ルールの設定

使用したいルールをあらかじめ定義しておくことで、解探索の際にそのルールを使用することができる。

config/rules.plの形式で保持しておく。

ルールのロード/使用はmain.pyに例あり。

#### 探索結果の整形

探索結果はdefaultdict形式で返る。dictにすると以下の形式。

(例) クエリ something(X,Y,Z)を実行したとする

```
{
    'X': [一番目の解のX, 二番目の解のX, 三番目の解のX, ...],
    'Y': [一番目の解のY, 二番目の解のY, 三番目の解のY, ...],
    'z': [一番目の解のZ, 二番目の解のZ, 三番目の解のZ, ...],
}
```

この形式だと処理しにくいため、

上記のように二次元配列化後に転置、辞書化する例をmain.pyに記載した。整形後は以下の形式。

もう少しうまく書けそうな気がするので、思い付けば共有お願いします。